

平成25年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン在宅・地域医療実習

実習生：町野 隆介

実習先：たくま医院

ゆきなりクリニック

出口外科医院

安中外科・脳神経外科医院

実習期間：平成27年6月1日（月）～6月26日（金）

実習生感想：

たくま医院：6月1.5日PM、6月7日AM

午後の外来の見学および市内南部地区の往診に同行させていただいた。癌患者さんだけではなく、良性疾患、老衰、難病の患者さんも多く見られた。なかでも印象に残ったのは、老衰にて食事摂取が難しくなってきた患者さんに対するの対応である。この患者さんは気管切開もしていなければ、胃瘻増設もしていない。基本的に維持点滴もしない。しかし、数日で亡くなられるであろう（実際に訪問してから約1週間で亡くなっている）その顔は穏やかであり、また病院であらゆる方法を用いて延命をおこなった患者さんと比べると、浮腫もなく、肌ハリも見られ、非常に綺麗であった。現代の医療に対する一般的な家族の要望を考えると、ターミナルの患者さんに必要最小限のことしか行わないのは難しいことであり、ターミナルの家族を持った家族の死に対する教育が非常に大切であると感じた。

ゆきなりクリニック：6月8.10.12日PM

午後の市内の往診に同行させていただいた。行成先生は癌患者さんを中心に往診を行われていた。訪問看護ステーションは用いず、自院の看護師が訪問看護を行っており、方針の統一も含め、看護師との連携が非常にスムーズであった。また、その往診範囲は広く、東長崎の山中にまで及ぶ。山中に独居の患者さんなどは、ADLの低下に伴い、普段の生活にも障害が出てくるため、医療とは異なる問題も出てくるが、そういった問題に対してもこまめに対応されていた。また訪問薬剤師等も活用することにより、へき地独居の患者さんに対して、医療従事者（医師、訪問看護師、訪問薬剤師、ヘルパー等）が時間をずらして訪問することで、安否確認のための空白の時間を少なくされているのが印象的であった。

出口外科医院：6月17.24日PM

午後の市内の往診に同行させていただいた。癌患者さんは半数程度。癌患者さんの中には医療従事者側から見れば、すでに抗癌剤の治療レジメンも5コース目、6コース目でPDとなり、抗癌治療による治療効果は望めないと判断していても、まだ治療に対する希望が残

っており、抗癌治療を希望される方もおられた。これまでの主治医からも説明は受けていないはずであるが、まだ自分の状態の受容ができていないとは言い難く、自分の症状からすると自分の状態は恐らく理解できていないはずであるが、余命等の話になると話をそらす傾向が見られた。しかし、もう残された時間は短く、そのような方に、残された時間を有意義に過ごしてもらうために、あらためて噛み砕いた言葉で時間をかけて説明される姿が印象的であった。また自分が外来などで説明を行う場合は、患者さんの数も多く、一人に掛ける時間がそれだけ短くなることもよくあることであるが、患者さん自身に理解ではなく受容させることが、人によってはこれほど困難であることをあらためて認識させられた。

安中外科：6月22.26日PM

午後の市内の往診に同行させていただいた。まず驚いたのが往診する患者さんの数とその行動範囲であった。とにかく多い、そして広い。しかし裏を返せば、これほど多くの医院がありながら、その患者さんの自宅近くには往診を引き受けるような医院が存在しないということであり、国が掲げる在宅見取りを増やすという方針に対して現場が対応できるようなシステムが構築されているとは言い難いということであろう。そういった中で、患者さんの拠り所になる非常に貴重な医師であると感じた。

在宅医が少ない一因として、院内外来診療が多忙である上に、在宅医療を行うことでの医師側へのメリットが少なく、むしろ、自分の専門外のことを要求される可能性があることに対する不安があげられると考える。

医療が細分化された現代においても、開業医院での外来診療、とくに持参する器具も限られる訪問診療では、全科的な知識や、難病、ターミナルケアに関する知識、それに伴った侵襲的な手技が求められることもしばしばである。そういった際に、各領域の専門医にコンサルトが可能な、長崎在宅Dr. ネットの活用は非常に有用であると感じた。各診療科の医師間または主幹病院医師との間にネットワークを広げ、在宅診療を行う医師の診療上の不安を取り除くことに加えて、国だけではなく、県や市の条例等、法整備（在宅診療を行う医師側へのメリット）等による在宅診療をおこなえる医師の確保を行うことで、長崎が在宅医療のモデルケースを作ることにも可能ではないかと考える。



たくま医院訪問診療にて：
施設患者さんの創処置

安中外科訪問診療にて：往診車下車後、
約 15 分間、階段や坂を上り、患者さん宅へ



実習後報告会にて